

(2面から続く)

利用できる基盤を整備し、デジタルシミュレーション上で公開・共有を進め、わかりやすい情報発信に取り組んでいく。

8年度予算の主要事業を問う

【質 問】地域資源を最大限に生かし、子どもたちが安心して自主的に遊び、活動できるように、環境の質をさらに高める具体的な施策の展開を求め。見解は。

【区 長】子ども動物園や赤塚植物園など特色ある公園・施設において、ボランティア活動などを通じ、様々な体験が成長につながるよう取り組んでいく。

【質 問】不登校対策について、早期支援の観点から、低学年向けの新たな学びの場の整備などをどのように検討していくか伺う。

【教育長】8年度から新たにあいキッズ室における日中の不登校児などの居場所の実施を推進する予定である。

【質 問】高齢福祉に関する組織改正に伴い、相談支援や介護予防などの区民サービスの質を維持・向上させるために講じている具体的な対策は。

【区 長】分散していた相談窓口を一元化し、相談機能を強化するとともに、フレイル予防・介護予防関連事業を集约することで、区民が利用しやすく、わかりやすい事業体系になるよう整理した。

【質 問】地域福祉コーディネーターの役割や相談内容を区民にわかりやすく伝えるための周知方法や情報発信の強化について、見解は。

【区 長】ホームページなどを活用し、周知を行ってきた。また、モデル配置の3地区においては、出張相談会などを

通して周知及び情報発信を図っている。今後は、SNSなど、様々な媒体による情報発信をさらに充実させていく。

【質 問】介護現場の声にこえるため、新たに検討している人材確保や支援の強化は。

【区 長】家賃支援など、より実効性の高い施策を検討していく。併せて、事業者と介護分野で働く意欲のある人材が、より確実につながる仕組みづくりを進めていく。

【質 問】介護保険事業費の抑制のため、フレイル予防の強化に一層取り組むべき。

【区 長】組織改正により、類似事業の整理統合のほか、専門職を必要とする事業の精査など、フレイル予防をはじめ、介護予防の取組全体の質の向上を図っていく。



【質 問】終活支援を通じて、区民のセカンドライフの充実や健康づくりにつながるため、今後どのように事業を発展・拡充していくのか伺う。

【区 長】終活支援事業開始後、効果などを検証しながら、セカンドライフの充実や健康づくりの視点も踏まえ、区民への丁寧な支援につながるよう、さらに検討を進めていく。

【質 問】がん検診について、受診率を向上させる実効性のある新たな取組は。

【区 長】8年度は、肺がん



おなだか勝

(民主クラブ)



予算編成について問う

【質 問】土木費や教育費の増大について、今後の対応は。

【区 長】今後、公共施設の改築需要の増加が見込まれているが、総量の最適化などに

個別検診において、受診券送付を初めて実施する予定である。今後も、封筒に検診受診を促す文言を記載するなど、受診率向上につながる実効性のある取組を進めていく。

【質 問】RSウイルス母子免疫ワクチンの定期接種化は、妊娠28週から36週の妊婦が対象であり、ほかのワクチンのように対象年齢が決まっていない。これまで以上の丁寧な対応が必要だが、体制整備や周知の方法は。

【区 長】対象者に対し、予約を個別に送付する。周知にあたっては、妊婦面接の際に直接案内するとともに、妊娠届時に配布する「母子の保健バッグ」にチラシを同封するなど、工夫していく。

【質 問】これまで進めてきた文化・教育・地域活動など、創造都市の基盤となる取組について、どのような成果や手応えを感じているか伺う。

【区 長】公園と融合した中央図書館など、文化的な魅力づくりに取り組んできた。また、子育て支援など、暮らしやすさを高める施策の展開にも取り組んできた。この10年で創造都市としての基盤が着実に築かれてきたと考える。

いたばし創造都市宣言を問う

【質 問】これまでも進めてきた文化・教育・地域活動など、創造都市の基盤となる取組について、どのような成果や手応えを感じているか伺う。

【区 長】公園と融合した中央図書館など、文化的な魅力づくりに取り組んできた。また、子育て支援など、暮らしやすさを高める施策の展開にも取り組んできた。この10年で創造都市としての基盤が着実に築かれてきたと考える。

【質 問】9年の区議・区長

取り組むとともに、基金・起債を活用し対応していく。

【質 問】ふるさと納税の返礼品による税収額について、7年度の見込みは。

【区 長】8年1月末時点で、返礼品の申込みを伴う寄付額は約1600万円である。

生活者ファーストの世の中へ

【質 問】修学旅行費の無償化を実施する自治体が増えていく。移動教室の無償化なども視野に入れた今後の対応策について、見解は。

【教育長】国や都、他自治体の動向を注視するとともに、区の特性に合わせた方策を検討していく。

【質 問】高市首相が裁量労働制の見直しを表明した。区は、労働者側にとどのような懸念があるか考えるか。

【区 長】一般論として、業務の効率化や柔軟な働き方が可能となるなどの利点がある反面、労働者の長時間労働につながる可能性を懸念する声があることを認識している。

私立保育園や介護関連施設、病院などに対し、人員配置に係る費用の補助を

【区 長】保育では、これまで処遇改善につながる様々な支援を行い、人材確保をサポートしてきた。介護関連施設及び病院については、区の支援策は設けていないが、国・都の動向を踏まえ、必要に応じて対応を検討していく。

【質 問】9年の区議・区長

【質 問】9年の区議・区長

選挙に向けた解決策は。

【選管局長】事前に様々なケースを想定し、投票総数の確定作業の検証をこれまで以上に実施するほか、開票速報の柔軟な運用も検討していく。



あいキッズについて問う

【質 問】8年度から「1日の居場所」となる10校について、人材確保の状況は。

【教育長】事業者において、計画的な採用活動など必要な人材確保を進めており、人員配置に不足が生じないよう開始の準備を進めていく。

教育現場における外国人への日本語指導について問う

【質 問】現状、日本語学級ほどの程度機能しているか。

【教育長】アセスメントツールなどを用いて習得状況を把握することで、多くの児童・生徒が日常会話から学習言語へと段階を踏んで上達し、在籍学級での学びへ円滑につながっている。

【質 問】都が新たに実施する日本語指導について、日本語学級との違いを伺う。

【教育長】モデル校では、入学前の日本語教室などが実施される予定である。日本語学級での指導に先立って実施することにより、早期に日本の生活に適応し、充実した学校



山内えり

(共産党)



公契約条例制定を求めて

【質 問】公共工事において、仕様書どおりの労働環境であるか点検することは発注者の責任である。完全週休2日制が守られているか把握すべき。

【区 長】区が発注する工事は、すでに週休2日制を適用しており、工程表などにより実施状況を把握している。引き続き、適切な環境で行われるよう、管理・監督に努める。

【質 問】集会所は歩いて行ける距離に配置すべきである。集約・統合ではなく、増やす方向に転換すべき。

【区 長】現時点で、集会所の増設を行う状況にはないと考えている。今後も、既存施設の有効活用と機能向上などにより、地域コミュニティ機能の充実に努めていく。

【質 問】現状、日本語学級ほどの程度機能しているか。

【教育長】アセスメントツールなどを用いて習得状況を把握することで、多くの児童・生徒が日常会話から学習言語へと段階を踏んで上達し、在籍学級での学びへ円滑につながっている。

【質 問】都が新たに実施する日本語指導について、日本語学級との違いを伺う。

【教育長】モデル校では、入学前の日本語教室などが実施される予定である。日本語学級での指導に先立って実施することにより、早期に日本の生活に適応し、充実した学校

住民合意のまちづくりを

【質 問】大山駅前歩道橋の撤去に伴う迂回路について、通行増に対する抜本的な対策を都や東武鉄道に求めるべき。

【区 長】引き続き、迂回路の周知や第15号踏切の直前横断防止など、踏切安全啓発活動に努めていく。

【質 問】板橋駅西口駅前広場再整備において、ロータリーを縮小すべきではない。8年度に行う実証実験は、時期や期間など、住民と合意しながら進めるべき。

【区 長】警視庁やバス事業者などと協議のうえ、実施時期などを決めることになるが、住民に対しても事前の説明や周知を適切に行っていく。

【質 問】安心して通える学校を保障するため、区として教職員を増やすべき。

【教育長】区による教員採用は考えていないが、学校を支援する人材を多数採用し、児童・生徒の指導体制の確保に努めているところである。

【質 問】アメリカとイスラエルによるイランへの無差別な攻撃を直ちに止めるよう、区として日本政府に求めるべき。

【区 長】他国への外交的な働きかけは、政府が国際情勢を見極め、判断すべき事項であり、対応を注視していく。

行財政運営について問う

【質 問】シルバーパスの購入費について、高齢者の外出を促進するため、他区のように独自助成を実施すべき。

【区 長】利便性などに配慮して、7年度から1万2000円に値下げされている。都の制度であることから、引き続き、動向を注視していく。

【質 問】区民サービスを維持するため、区の正規職員を増員し、抜本的な体制強化を。

【区 長】必要な分野において増員を図っている。今後も、効率のかつ効果的な人員配置を行い、組織体制の充実に努めていく。

公の責任で災害対策の強化を

【質 問】非木造建築物における耐震診断・耐震補強設計・耐震改修工事の助成額を大幅に引き上げるべき。

【区 長】国や都の動向を踏まえ、費用対効果を見据えながら、拡充の時期や内容を研究していく。

教職員の増員について問う

【質 問】安心して通える学校を保障するため、区として教職員を増やすべき。

【教育長】区による教員採用は考えていないが、学校を支援する人材を多数採用し、児童・生徒の指導体制の確保に努めているところである。

核兵器廃絶へさらなる発信を

【質 問】アメリカとイスラエルによるイランへの無差別な攻撃を直ちに止めるよう、区として日本政府に求めるべき。

【区 長】他国への外交的な働きかけは、政府が国際情勢を見極め、判断すべき事項であり、対応を注視していく。



板橋駅西口駅前広場

女性差別のない板橋に

【質 問】中高年のシングル女性は、近年増加傾向にある。シングル女性の貧困に対する認識を伺う。

【区 長】男女の賃金格差や女性の非正規雇用の割合が高いことなど、様々な要因で、経済的に厳しい女性の単身世帯が多くなっていると考える。